

第74回 経営協議会 議事要旨

日 時 平成26年1月23日(木) 9:57~11:50
場 所 事務局4階第3会議室

報告事項1.平成26年度予算案(運営費交付金関係)内示について(資料1)

議題1.中期計画の変更手続きについて(資料2)

議題2.平成26年度予算編成について(資料3)

議題3.平成25年度間接経費(全学分)の追加配分について(資料4)

報告事項2.独立行政法人における役職員の給与について(資料5)

報告事項3.【総務省政策評価・独立行政法人評価委員会】

平成24年度における国立大学法人及び大学共同利用機関法人の業務の実績に関する評価の結果への意見について (資料6)

報告事項4.平成25事業年度中間決算について(資料7)

報告事項5.平成25年度補正予算(第1号)における対象予定事業等について(資料8)

報告事項6.記者発表事項等について(資料9)

報告事項7.本学教育研究評議会での審議事項等について(資料10)

[出席委員] 12名

前田学長

(理事)島、高松、清原、住吉、渡辺、熊本

(学外有識者)赤坂、大平、玉川、中村、松木園

[欠席委員] 2名

(学外有識者)伊牟田、永田

[オブザーバー]

(理事)大野

(監事)坂東、押越

(副学長)野呂

[事務局]

(部長)森山、迫田、諏訪原、廻、飯田

(課長・室長)那加野、松野下、新田、中園、通山、稲葉、西、池尻、湊、森下、増間、藤崎

報告事項1.平成26年度予算案(運営費交付金関係)内示について(資料1)

渡辺理事から、平成26年度予算案(運営費交付金関係)内示について、資料に基づき説明があった。

議題1.中期計画の変更手続きについて(資料2)

学長から、中期計画の変更手続きについて諮られ、高松理事から、平成26年度予算案の特別経費で「教育研究組織の再編成等を見据えた構想プロジェクト(調査費)」として本学の「大学院熱帯水産学国際連携プログラムの形成」が採択されたことに伴い、国立大学法人法第31条(中期計画関係)

に基づく中期目標及び中期計画変更の認可申請等が必要となる旨資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

議題 2 . 平成 26 年度予算編成について (資料 3)

学長から、平成26年度予算編成について諮られ、渡辺理事から、平成26年度予算編成基本方針(案)について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

議題 3 . 平成 25 年度間接経費(全学分)の追加配分について(資料 4)

学長から、平成 25 年度間接経費(全学分)の追加配分について諮られ、渡辺理事から、平成 25 年度間接経費(全学分)の追加配分について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項 2 . 独立行政法人における役職員の給与について(資料 5)

島理事から、独立行政法人における役職員の給与について、平成 25 年 11 月 15 日閣議決定において、「東日本大震災からの復興のための財源を確保するため国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律(平成 24 年法律第 2 号)に基づき実施されている給与減額支給措置については、同法の規定のとおり平成 26 年 3 月 31 日をもって終了するものとする。」とされているところであり、本学で実施されている給与減額支給措置については、本学職員給与規則のとおり平成 26 年 3 月 31 日をもって終了する旨資料に基づき説明があった。

報告事項 3 .【総務省政策評価・独立行政法人評価委員会】

平成 24 年度における国立大学法人及び大学共同利用機関法人の業務の実績に関する評価の結果への意見について (資料 6)

高松理事から、総務省政策評価・独立行政法人評価委員会による平成 24 年度における国立大学法人及び大学共同利用機関法人の業務の実績に関する評価の結果についての意見が国立大学評価委員会事務局より送られてきた旨資料に基づき説明があった。

報告事項 4 . 平成 25 事業年度中間決算について(資料 7)

渡辺理事から、平成25事業年度中間決算について、資料に基づき説明があった。

学外委員から、大学病院の収支が均衡しているのは良いことであるが、診療、教育、研究の面から最先端の医療設備の更新整備など他の大学病院や医療機関に遅れを取らないよう設備投資も重要であること、及び研修医確保の問題もあるので研修医及び若手医員の待遇改善なども努めて欲しい旨の意見があり、学内委員から、大学病院のミッションとして診療はもちろんのこと医師の教育育成や臨床研究も重要であることから、今後も可能な限り設備の充実を図るとともに研修医や若手医員の待遇見直し改善に努めたい旨説明があった。また、地域医療のためにも可能な限り機器設備を充実させていきたい旨説明があった。

報告事項 5 . 平成25年度補正予算(第 1 号)における対象予定事業等について(資料 8)

渡辺理事から、平成25年度補正予算(第 1 号)における対象予定事業等について、資料に基づき説明があった。

報告事項 6 . 記者発表事項等について(資料 9)

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨説明があった。

報告事項 7 . 本学教育研究評議会での審議事項等について (資料 1 0)

学長から、本学での動向等を把握して頂くために、教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

その他

学外委員から、大学のグローバル化への取り組み対応について、大学が有している資源、パワー及び高等学校との連携について質問があり、学内委員から、学生の英語力底上げのために新たに理系学部の個別試験に英語を課す方向で検討中であること、英語教育改革の一環として外部試験 (G-TELP、TOEIC、TOEFL) の更なる活用、奨励、コミュニケーション能力向上のために異文化理解等の共通教育科目の整備充実及び海外研修、留学のプログラムの充実を図りたい旨説明があった。また、高大連携は大学の重要なミッションの一つでもあるので、高等学校とも可能な限り連携協力を図りながら積極的に進めていきたい旨説明があった。

次回の経営協議会は、平成 2 6 年 3 月 2 0 日 (木) 1 5 時 0 0 分から開催することとなった。